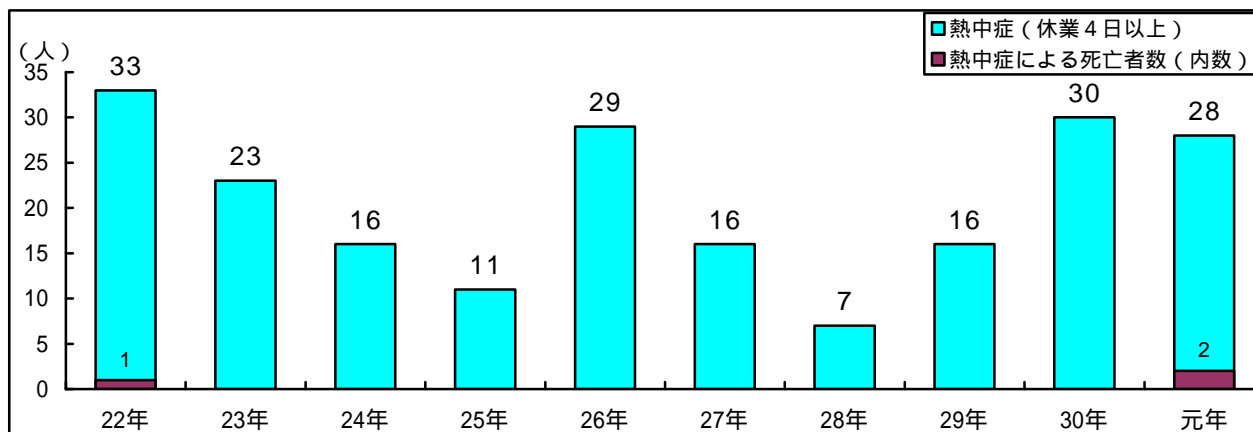


新潟県内における熱中症による死傷災害

新潟労働局
(確定版)

1 熱中症による死傷者数の推移

過去10年間の新潟県内の熱中症による死傷者数の推移



2 月別発生状況(平成27~令和元年分)

月別では例年7・8月に多く発生している。また、近年では初夏(6月)や残暑(9・10月)時期の発生もみられる。

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
平成27年	0	2	10	4	0	0	16
平成28年	0	0	3	3	1	0	7
平成29年	0	1	9	6	0	0	16
平成30年	1	3	15	11	0	0	30
令和元年	0	1	7	18	1	1	28
計	1	7	44	42	2	1	97

3 業種別発生状況(平成27~令和元年分)

業種別では屋外型産業である建設業が一番多く発生している。また、製造業やその他業種(第三次産業)においても多く発生しており、警備業では死亡者が出るなど、様々な業種で発生している。

業種	建設業	運輸交通業	警備業	製造業	その他	計
平成27年	3	1	2	5	5	16
平成28年	3	0	0	1	3	7
平成29年	5	3	0	6	2	16
平成30年	12	1	1	7	9	30
令和元年	6	1	3	8	10	28
計	29	6	6	27	29	97

(備考) 労働者死傷病報告(休業4日以上)による集計。○内の数字は死亡者数で内数。